



頑張ってるお母さん、忙しいお父さんに代わって

病気のお子さんを保育します

Part2



～チャイルドケアさくら～

今年度、市内2カ所に病児・病後児の保育施設が誕生しました。

先月号では串間市病児保育センターをご紹介しましたが、今回はチャイルドケアさくらに密着、ご紹介します

1 和室で ゆったり

定員は3人で、部屋も隔離室3室を準備しています。隔離室3室は、すべてタタミ敷きの和室仕様。部屋と部屋との仕切りには小さな窓を設けており、隣の部屋の様子を見ることができます。また、各部屋には空気清浄機を完備。感染症対策に気を付けています。



2 食事の心配はいりません

当園では、お子さまの状態に応じて給食、そしておやつを準備いたします。

普通食はもちろん、離乳食も月齢に応じて初期・中期・後期の3種類に常時対応。このほか食材の進み具合によって、食事内容も柔軟に対応しています。

また、給食はアレルギーにも対応しており、朝の預かり時に細かく聞き取りをします。



3 保護者とのコミュニケーションを大切に

保護者の方に安心していただけるよう、必要に応じてお子さまの様子をメールで連絡することもできます。提供した給食や生活の様子などを写真に収め、お帰りの際にお渡しするようにしています。給食は何をどのくらい食べたかについてもきちんとお伝えするようにしています。

また、とんぷく菓などを用いる際には保護者の方へご連絡します。そして必要に応じてお子さまのかかりつけ医にも判断を仰ぐなど、保護者・医師・施設スタッフ3者の連携に努めます。



困っている方の手助けを。



チャイルドケアさくら 園長 嶋村尚子さん

長年の保護者からの要望にこたえるために自主事業で病後児保育を始めました。思っていたとおり、利用者のほとんどは仕事が休めなくて困っている方ばかりでした。お子さまをお迎えのときに「助かりました」と言われる利用者の声に、施設を始めて良かったと感じています。困っている方々が利用しやすい料金と、1人ひとりのお子さまの状態に応じた独自の給食で対応していきます。

- 定員=3名(回復期)
- *0歳児から小学校3年生まで
- 料金=1,500円(1日)
- *連続してご利用の場合には4日目から1,000円になります。
- 利用時間
- ・月～金曜=午前8時15分～午後5時半
- ・土曜=午前8時15分～午後1時
- *日曜・祝日・8月13日～15日、12月29日～1月3日は休み
- 職員=看護師1名・保育士2名
- 問い合わせ先=串間市大字北方7358-2
- ☎080-8360-8683(直通)
- ☎72-5618(南さくら保育園)

4 情報共有で しっかり保育

保育士と看護師は、預かる子どもや病気に適した対応などについて、しっかりと情報を共有。連携を強化しながら丁寧に見守ります。特に複数の子どもを預かる場合には注意を払っています。病気の種類によっては感染を拡大することのないよう、シャワーやトイレの利用の仕方にも気を配っています。

また、職員間で気づいたことはその都度、「次回からはこうしてはどうか」と改善点などを協議。保育内容の充実と統一を図るようにしています。



5 病児看護と保育の専門性を高めます

当園は全国病児保育協議会に加入しています。また、小児救急看護の認定看護師の講演や各種研修にも参加。下痢や高熱を発症したときの対処法などについて学んでいます。保護者の方には、病状に応じた家での看病の仕方や食事のアドバイスもいたします。このほか、病児保育事業総合保険に加入して、利用者の安心・安全を保障します。

